

選択したシラバスのプレビュー画面です

平成29 年度 

講義科目名称 : **日本語学概論Ⅱ**
英文科目名称 : ---

授業コード : **52014**

| | | | |
|----------|------|--------------------|--------|
| 開講期間 | 授業形態 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 後期 | 講義 | 2単位 | |
| 曜日時限 | | | |
| 後期: 金曜2限 | | | |
| 配当学科・学年 | | | |
| 教育1 | | | |
| 担当教員 | | | |
| 大槻 美智子 | | | |
| | | 幼DP1,学DP1・2,特DP1・2 | |

| | |
|-------------------|---|
| 授業テーマ | 文字のはたらきおよび漢字に関する種々の知識を獲得し、日本語への理解を深める。 |
| 講義概要 | 国語科を担当する教師として知っておいて欲しい(日本語の特徴)を学びます。 ①文字のはたらきと種類 ②漢字の成立と特徴、③日本語の国字政策と表記について、その基礎を学びます。 |
| 到達目標 | 1 文字のはたらきと種類について説明できる。 2 漢字の成立や特質について理解し説明できる。 3 部首・音訓の由来・漢和辞典の読み方についての知識を獲得し説明できる。 4 国字政策を通して、日本語の表記法についての知識を獲得し説明できる。 5 漢字制限の歴史についての知識を獲得し説明できる。 |
| 評価方法・フィードバックの方法 | 〈評価方法〉 各トピック終了時に課す課題や小テスト(40%) 定期試験の結果(60%)で評価する。 〈フィードバックの方法〉 小テストは採点して返却。 レポート課題はルーブリックを付けて返却する。 |
| 評価基準 | 〈最低限の到達度〉(可) 知識を6割方獲得し課題を提出している。 〈望ましい到達度〉(優・秀) 知識を8割以上獲得して応用できるとともに、課題に問題意識を持って取り組み自分の言葉で表現できている。 |
| テキスト | 特に指定しない。 |
| 参考書 | 阿辻哲次 2003『漢字のはなし』岩波ジュニア新書 阿辻哲次 2004『部首のはなし1・2』中公新書 円満字二郎 2008『漢和辞典に訊け!』ちくま新書 江守賢治2012『漢字筆順ハンドブック』三省堂 その他、適宜紹介する。 |
| 履修上の注意 | 板書しなくても、説明の言葉はノートをとること。 内容が盛り沢山なので、きちんと復習して消化するように努力すること。 隣や前後の人と話し合うことも多いので、協力すること。 毎回提出するコメントカードには、質問・授業の要約・感想などを丁寧に書くこと。 |
| 準備学習<予習・復習の時間・内容> | 2単位の修得には、2時間×15回の授業のほか合計60時間(4時間×15回)の事前事後学習が必要です。30時間の事前学習(予習)と事後学習(復習)を自主に学習に取り組んで下さい。 予習 ・提出された事前課題に取り組む。 ・レポートの課題について調査する。 復習 ・講義後に配布プリントやノートを見てよく復習し、小テストの準備をする。 ・レポートに対するルーブリック評価を確認し自分のレポートの長短を確認する。 |
| オフィスアワー等 | 質問は、授業終了時およびコメントカードへの記入ならびに月曜3限・金曜3限に研究室で受付ける。 |
| 備考・メッセージ | 日本語に関する基礎的知識を学習するので、「学校教育専攻」の学生は履修して下さい。 中等教育実践コース、学校教育臨床コースの選択必修科目です。 |

| 授業計画 | | | | |
|------|------|------|---|---|
| 回数 | 授業形態 | 担当教員 | 授業内容 | 到達目標 |
| 1 | 講義 | 大槻 | オリエンテーション 文字とは何か。 シラバスの熟読 講義の進め方 | 文字の特徴について理解できる。 シラバスを熟読して、講義の目標・進め方・受講者評価について理解できる。 文字の種類について理解できる。 |
| 2 | 講義 | 大槻 | 日本語の文字(1) | 「六書」の内容を理解できる。 |
| 3 | 講義 | 大槻 | 日本語の文字(2) | 「六書」を文字生成の原理として捉え、他文明の文字生成のあり方に適用できる。 |
| 4 | 講義 | 大槻 | 日本語の文字(3) | 日本の漢字音の種類が分かる。 |

| | | | | | | |
|----|----|----|-----------|---|--|--|
| | | | | それぞれの種類（呉音・漢音・唐音・慣用音など）について説明できる。 | | |
| 5 | 講義 | 大槻 | 日本語の文字（４） | 湯桶読み・重箱読みについて説明できる。 熟字訓が分かる。 同音漢字・同訓漢字が分かる。 | | |
| 6 | 講義 | 大槻 | 漢和辞典を読む | 漢和辞典に掲載されている内容を読み取ることができる。 | | |
| 7 | 講義 | 大槻 | 日本語の表記（１） | 明治以来の漢字制限に対する歴史が理解でき、説明できる。 | | |
| 8 | 講義 | 大槻 | 日本語の表記（２） | 常用漢字表成立の意義とその問題点について理解でき、説明できる。 | | |
| 9 | 講義 | 大槻 | 日本語の表記（３） | 字形と字体の違いについて分かる。 常用漢字表に記されている、「手書き文字の特徴」について理解できる。 | | |
| 10 | 講義 | 大槻 | 日本語の表記（４） | 「現代仮名遣い」の原則が理解できる。 「現代仮名遣い」の例外について理解でき、説明できる。 | | |
| 11 | 講義 | 大槻 | 日本語の表記（５） | 「ローマ字のつづり方」の内容が理解できる。 「ローマ字のつづり方」に従って表記できる。 | | |
| 12 | 講義 | 大槻 | 日本語の表記（６） | 日本語点字のしくみについて理解でき、説明できる。 | | |
| 13 | 講義 | 大槻 | 日本語と文化（１） | 文字遊びの歴史について理解できる。 | | |
| 14 | 講義 | 大槻 | 日本語と文化（２） | 十干十二支・五行思想と日本語との関係について理解できる。 | | |
| 15 | 講義 | 大槻 | まとめ | 国字政策と表記、文化に関する課題に対して、まとめて述べることができる。 | | |

| 授業方法 | | | | | |
|------|------|----|-----------|------------|--------|
| | 学習方法 | 場所 | 教員数(補助者数) | 教科書以外の教材など | 時間(分) |
| | 講義 | 教室 | 1 | 資料を配布する | 90分×15 |

閉じる